



お掃除大会：Shiny Yokatsu!

3年ぶりに本校伝統の中高合同お掃除大会が開催され、生徒職員が2日間にわたり校舎の隅々までピカピカにしてくれました。直前の台風襲来で開催も危ぶまれましたが、生徒会執行部を中心とした生徒の皆さんの思いが通じ無事に全日程を完遂することができました。夏休み期間のリーダー研修を含め生徒会執行部が様々なアイデアを出し合い、事前学習用のビデオやマニュアル本の作成、得点に応じた陣取りゲームなど趣向を凝らした素晴らしい行事となりました。厳正な審査の結果下記のクラスが表彰されました。1位 1-1、2位 3-B 2-3 4位 2-1 2-B



ラオスでの国際協力：Precious Experience!

県が主催する「おきなわ国際協力人材育成事業」に山城万奈さんが11名の派遣メンバーに選ばれ、東南アジアのラオスにて約10日間の研修を受けました。このプログラムは、国際協力活動現場等の視察や現地の人々と交流を通して本県若者の国際感覚、グローバルな視点を涵養するための事業です。研修を終えて万奈さんは次のように語っていました。



「研修前は開発途上国と先進国という立場で勝手に壁を作っていました。私自身も初めの頃は「可哀想」という感情ばかりありました。でも、ラオスの人はみんな生き生きしていました。心が充実しているというか、生活を心から楽しんでいました。何かを伝えようという意気込みで渡航したのですが、むしろ、日本が真似すべき所、開発途上国から学ぶことの方が多かったです。先進国の方が立場が上という固定概念は取っ払うべきです！やってあげる、など一方的な支援ではなく、相手に寄り添って、ラオスも日本も共に成長できるような協力が大切だと実感しました。この研修を通して今まで見えてこなかった新しい自分を知ることが出来て、もっともっと世界にでて、広い視野をもちたい！という思いから、留学する夢がより強いものになりました！ここで学んだことを自分の中だけで終わらすのではなく、色々な人に発信していき、みんなが世界に目を向けるきっかけを私が作っていきたいです！」



Quote for the month (今月の言葉)

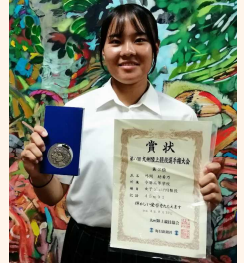
～青春って、すごく密～ 仙台育英高校須江航監督

夏の甲子園で東北地方初の優勝校となった仙台育英高校野球部監督の言葉。現3年生は高校入学時からコロナ禍で多くが仲間と体験を分かち合う貴重な機会である様々な行事が中止になったり行動が制限された世代ですが、否定的な意味合いで使われる『密』という言葉を、むしろプラスの意味合いに一気に転換するフレーズで全国の若者から賞賛されました。視点を変えれば違った世界が見える、また逆境は新しいアイデアを生み出すチャンスだと捉えて皆さんにもコロナ禍を乗り切ってほしいです。 **Taka a chance!** 校長



～陸上部・貫禄の強さ～

全国インターハイで、陸上部外間結希乃さんが円盤投で**全国4位**という快挙に続き、九州陸上競技選手権でも**2位**に輝きました。九州大会では、知念一菜さんが円盤投5位、宮里朝大さんが走高跳5位、外間勝結さんが円盤投6位に入賞するなど陸上部の活躍が光りました。今後どこまで記録を伸ばすか楽しみです。 **Way to Go!**



～県高校新人水泳で2冠達成～

徳門慧さんが同大会で**200mバタフライ**と**個人メドレー**で**2冠**を達成し、九州大会に出場します。九州ではバタフライで表彰台を個人メドレーでは決勝進出を目標に日々トレーニングを積んでいると抱負を語っていました。



～情報検定1級合格～

眞榮城優弥さんが、情報処理技能検定試験(表計算)に合格しました。本校での1級合格は2年連続で3人目となります。 **Congrats!**



English Day!

コロナで中断していた English Camp が English Day として再開され、8月に緑中生を含む20名の生徒が参加しました。 **アンドリュー先生**を中心とした先生方とカヌー体験を含む様々なアクティビティーを通して英語漬けの1日を過ごしました。 **Great!**

